

ご参加要項

申込方法

①下記申込書に必要事項にご記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。受領後、受付確認の連絡を致します。
※必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。
中産連ホームページ(www.chusanren.or.jp)、または右記のQRコードからもお申込み頂けます。
申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。

②請求書は申込責任者宛へ郵送します。

フォーラム視聴用URLは、配信日前日までに「参加者のE-mailアドレス」へ送信致します。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。



参加費

中産連会員	1名 49,500円	※2人目から半額(24,750円)とさせていただきます。
中産連会員外	1名 55,000円	※2人目から半額(27,500円)とさせていただきます。

※消費税込み

【1社複数名申込 特典】※1社2人以上のお申し込みの場合、2人目より半額とさせていただきます。

申込先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 安藤
〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL:052-931-9826 FAX:0120-342-340

振込先

お振込みは、下記銀行口座へお願いいたします。
三菱UFJ銀行 名古屋営業部 当座No.420222 <口座名：一般社団法人中部産業連盟>

ご参加に関する
注意事項

1. フォーラムURLはご参加者本人のみ使用可能です。再交付、複数名で共有することはご遠慮ください。
2. オンライン配信動画の画面の撮影、録音、資料の複製等をご遠慮ください。
3. フォーラム参加に必要なインターネット回線、インターネット回線に接続できる端末(パソコン、タブレット、スマートフォン等)、参加者自身で準備及び設定願います。
4. ネット回線・システムトラブル等による視聴の遅延・中断等に関しては返金致しかねます。ご了承ください。

中産連×愛知県 自動車産業フォーラム2026(オンライン) 参加申込書

年 月 日

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

※E-mail アドレスは必ずご記入ください。

参加者	所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者	所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	中産連会員 (○印をお付けください)	会 員 ・ 会員外
		百万円	人		

今回で記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。
詳細は当連盟HP(https://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。
同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には右記にレ点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

 一般社団法人 中部産業連盟

FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 安藤 行

オンライン配信

大手自動車メーカー、自動車部品メーカーが語る

中産連 × 愛知県

自動車産業フォーラム2026

最新技術講座

オンライン配信期間

2026年3月13日(金)13:00~3月27日(金)13:00

※録画配信のため配信期間中は、何度でもご視聴頂けます。

ご講演企業・大学



【協賛】

公益社団法人 自動車技術会 一般社団法人 日本自動車部品工業会 中日本支部
一般社団法人 日本金型工業会 中部支部 一般社団法人 愛知県溶接協会
中部経済新聞社 岡崎信用金庫

共催:  一般社団法人 中部産業連盟  中産連 ×  愛知県

講座のポイント

「自動車産業は今後、どのような方向に進むのか？」 「これから、どのような分野の技術開発やビジネスに力を入れるべきか？」

100年に一度とも言われる大変革期において、自動車産業は世界的にも力強い成長を遂げてきました。
また、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受け、自動車産業を取り巻く環境も大きく変化しました。
この前代未聞の局面の中で生き残るためには、自動車の技術が次にどこに向かっていくのかを常に考え、新たな視点から物事を捉える柔軟性が必要になります。
本講座では、自動車メーカー・部品メーカー(トヨタ自動車、マツダ、三菱自動車工業、リョービ)の技術開発の第一線で活躍するエキスパートと名古屋大学、名城大学による産学官の各分野において次世代自動車の最新技術や今後の動向を解説いたします。
自動車の明日の技術開発やビジネスチャンスを探っていただくため自動車産業に携わる皆様の一助となれば幸いです。

コーディネータ



坂井 滋 氏 公益社団法人自動車技術会・技術者育成委員会 講師・アドバイザー (元 日産自動車株式会社)

日産自動車に35年勤務し、シャシー部品の設計並びに多数の新車開発を行い、日産の商品体系戦略立案などの責任者、日産リバイバルプラン策定パイロットを経て、FR高級車群の事業統括責任者、開発部門のアウトソーシング推進責任者など幅広く経験。日産自動車技術顧問、熊本大学客員教授、熊本県産業技術センター所長、熊本県産業政策名誉顧問などを歴任し、自動車以外の産業技術の発展や大学工学教育に従事。
現在は自動車技術会・技術者育成委員会の講師・アドバイザーとして自動車工学基礎講座の講義を担当。

【配信期間】

2026年3月13日(金)13:00～3月27日(金)13:00

受講対象者

- ・自動車産業に携わる企業の経営者、技術担当役員、管理職の方
- ・今後、自動車産業への参入を検討している企業の方

講演 約60分

『最新 自動車産業の動向2026 ～トランプ関税の影響と電動化のゆくえ』

◆名城大学 経営学部 教授 田中 武憲 氏

「トランプ関税」の定着・恒常化や「EVシフト」の減速、中国メーカーの台頭など、日本の自動車産業を取り巻く環境はますます不確実性を増しており、自動車メーカー・部品メーカーは新たな事業戦略を模索している。本講演では、各地の自動車産業集積地で実施したアンケート調査を元に、急速に変化する日本の自動車産業の構造と今後の展望について説明する。

講演 約50分

『三菱自動車における AXCR(Asia Cross Country Rally)での車両開発への取り組み』

◆三菱自動車工業株式会社
開発管理部 モータースポーツ開発 マネージャー 相羽 規芳 氏

AXCR(Asia Cross Country Rally)は、FIA(国際自動車連盟)公認のクロスカントリーラリーで、アセアン特有の高温多湿な気候と山岳や密林を中心とする過酷なオフロードで競われる。今年2025年は、8月に第30回大会として開催された。
三菱自動車は、2022年よりピックアップトラック「トライトン」での参戦を継続している。今回、ラリー車両開発の取組みを紹介する。

講演 約50分

『サイバートラック(テスラ)とSU7(シャオミ)の分解から見えてきた各国の電動化・ 半導体戦略と中部地域ものづくり企業が執るべき自動車ビジネス戦略』

◆名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授・博士(工学) 山本 真義 氏

サイバートラックやSU7、さらにはBYD、吉利汽車等の分解解析結果から米国と中国の今後の電動車戦略を予測し、解説する。さらに2030年における今後の各国の自動車戦略ロードマップを予測し、今後、中部地方のものづくり企業がどの様にビッグマーケットに乗り遅れずに対応していけば良いかについて、車体設計、電動部品設計、ADAS、さらには自動運転に関わる新技術も含めて、議論展開していく。

講演 約50分

『ギガキャストの技術動向と課題』

◆リョービ株式会社 ダイカスト企画開発本部 研究開発部 部長 新田 真 氏

自動車の電動化が進む中、ダイカスト製品の適用内容も変化している。
従来は、エンジンブロックや変速器などのケース・カバー類が主な使用用途であったが、材料・金型・鋳造の技術の向上により、ボディシャシーへの適用も可能となり、その採用が増えてきている。
その中で、リアアンダーボディへの採用から始まった大型一体ダイカスト(ギガキャスト)の技術動向や今後の展開における課題、当社におけるギガキャスト機導入の取り組みを紹介する。

講演 約50分

『SDV時代に向けたMAZDAの戦略』

◆マツダ株式会社 R&D戦略企画本部 技監 足立 智彦 氏

マツダはSDV時代に向けてMBDを整備してきている。
AIを活用することで、これまで培ってきたMBDの強みをさらに生かすことが出来ると考えており、Small Playerとして必須の領域である。
SDV時代に向けたMAZDAの生き残りに向けた課題と、それへMBD+AIで対応しようとしている取り組みを紹介する。

講演 約40分

『品質基準の適正化が現場を笑顔にする ～SSAが導くサプライチェーンの競争力強化～』

◆トヨタ自動車株式会社 クルマ開発センター 主査 西原 正二 氏

SSA(Smart Standard Activity)は、品質・性能基準の適正化を通じて、自動車・自動車部品業界全体の競争力と持続可能性を高める活動である。現場の困りごとに寄り添いながら、OEM連携や業界横断の展開を進め、サプライチェーン全体の構造課題に挑むSSA活動の全体像を紹介する。